

私たちの道

MCWAYを感じる

「成長貢献リーダー」について考える

1. 成長貢献リーダーになった当初の思い

自信の無さが不安を生み、“正解”を探しつづけていた

- ・専門性も未熟、自身が成長できている自信すらない
- ・私に何ができる？何が“正解”？何をやる“べき”？
- ・気づき:自分の成長を信じず、仲間の成長に貢献できるはずがない

「できることからまずはやってみる」という気持ちへ切り替え

- ・そもそも“成長貢献リーダー”は会社の新しい挑戦
- ・“正解”は存在せず、試し、失敗し、よりよい方法を探ることが大切

自分ができること(=入社以来大切にしてきたこと)

- ・まずはやってみること
- ・丁寧に言語化すること
- ・何度も伝えること

成長貢献リーダーだからこそ得られる機会

- ・多くの仲間やリーダーの話を聴き、受け止め、共感し、伝えあうこと

2. これまでのリーダー活動で得た学び

成長貢献リーダーに必要なのは助言する力ではなく、いっしょに考える姿勢

- ・「では、どうするか?」をいっしょに考えると仲間の視野が広がる
- ・自分で考えたアクションを自ら選ぶことで挑戦は前向きになる
- ・リーダーは“個人”ではなく、全リーダーとの“チーム”である
- ・経験にもとづく助言が必要なきは適切なリーダーとサポートする
- ・「組織としてどう対応するとよりよくなるか」を考え始めると、一人で悩むのではなく、他のリーダーと相談するという行動が変わる

同じ志を持っていても、仲間の見ているものや感じている想いは十人十色

- ・“会社の思い”と“仲間の思い”をつなぐのが成長貢献リーダー

3. 今後挑戦しつづけること

各会議で発信される“会社の思い”を仲間といっしょに理解する

- ・見ているものや感じている想いが違えば、伝わり方も変わる
- ・「どう伝わり、どう解釈したのか」を丁寧に対話していく

仲間とともに“会社の成長”と“仲間の成長”について考えつづける

- ・両方を叶える「自分にできること」をいっしょに探し、挑戦を後押しする